

■日本建築学会地球環境委員会建築と都市 Paris 協定達成小委員会 拡大委員会

共催：脱炭素社会推進会議

後援：エネルギー・資源学会 研究委員会「2050年に向けた日本のエネルギー需給」

日時：2022年3月10日（木） 13：00～17：00

場所：オンライン Zoom 無料（申込者のみ事前資料配布）

ミーティング ID: 831 7492 7783 パスコード: 773004



申込 QR コード

## 議題：地域カーボンニュートラル・SDGs 推進の在り方について

主旨概要：パリ協定が発効し、気候変動対策は2030年および2050年を視野に入れた長期展望が求められている。同時に国や地方自治体でも国連アジェンダ2030のSDGs対応、カーボンニュートラル（以下、CN）化が求められており、建築物、都市と生活の気候変動対策は重要なテーマになっている。本小委員会では、温暖化対策への建築物対策について現状での到達点を明らかにし、今後の展望を探るべく、客観的な実態分析と最新の対策技術及び政策手法について調査している。本シンポジウムでは、具体策としての新しいライフスタイルと都市の在り方を探る。

司会：山崎政人（日本環境技研）

13：00 開始

基調講演1：建築分野の脱炭素に関して 田辺新一（日本建築学会会長、早稲田大学）20分

基調講演2：カーボンニュートラルと地域脱炭素の発想と具体策 飯野暁（環境省大臣官房） 10分

講演：13：30～16：00

- |                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 民生部門エネルギー需要の将来推計に基づく知見          | 山口容平（大阪大学）      |
| 2. CNのための建築・都市の在り方について             | 竹部友久（日本設計）      |
| 3. 地域脱炭素ロードマップと家庭部門対策              | 磐田朋子（芝浦工業大学）    |
| 4. 自治体におけるローカルSDGs推進の現状と課題         | 川久保俊（法政大学）      |
| 5. 都市地域炭素マッピング手法とその活用              | 吉田崇紘（東京大学）      |
| 14:30 休憩 10分                       |                 |
| 6. CNと自然エネルギー：住宅・建築物での導入と利用        | 西田裕子（自然エネルギー財団） |
| 7. 地域カーボンニュートラル・SDGs推進に向けて（各発表10分） |                 |
| 1) 長野県のゼロカーボン戦略とその実現に向けた動き         | 高木直樹（信州大学）      |
| 2) 京都府内のCNに向けた取り組み                 | 松原斎樹（京都府立大学）    |
| 3) 秋田県のCN実現に向けた計画                  | 長谷川兼一（秋田県立大学）   |
| 4) 福岡県ならびに県下自治体のCNに向けた取り組み         | 依田浩敏（近畿大学）      |
| 5) 栃木県内でのCNに向けた各種取り組み              | 横尾昇剛（宇都宮大学）     |
| 6) 福島県新地町における環境配慮型の震災復興まちづくり       | 平野勇二郎（国立環境研究所）  |
| 8. 2030年までの確実な削減に向けて               | 外岡豊（埼玉大学）       |

16:00 休憩 10分

討論会：進行・吉田友紀子（茨城大学）、登壇者全員（田辺先生、川久保先生ご欠席）

まとめ 吉田友紀子

問い合わせ先：茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻吉田研究室内

申し込み：Forms <https://forms.office.com/r/MWfjFhBe8P>

e-mail: yoshida.space0@gmail.com